

保護者の皆様

平成 30 年 6 月 18 日 7 時 58 分頃、大阪府北部を震源とした地震が発生し、大阪では最大震度 6 弱、木津川市では震度 4 が観測されました。学校では、日常的に避難訓練を行い、地震が起こった時の避難の仕方や心構えを学習しております。しかし、今回の地震は、登校の時間帯と重なっていたということもあり、子どもたちは様々な状況で地震に遭遇し、避難しました。幸いにも大きな事故につながることはありませんでしたが、近い将来に発生が危惧される南海トラフ地震など、今後このような大地震に遭遇する可能性が木津川市でもあります。また、台風の接近による風や雨の被害も全国的に見られ、木津川市においても、避難所開設、避難勧告等も発令されました。

今後、そのような事態に備え、子どもたちのかけがえのない命を守るためには、子どもたちの防災意識と知識・能力を高め、災害から身を守る力をはぐくむことが重要です。保護者の皆様にも、子どもたちと一緒に考えていただくことにより、家族の防災意識の向上や家庭や地域の防災対策に取り組んでいただきたいと思います。ご理解、ご協力をお願いします。



発行：木津川市役所

平成 30 年度

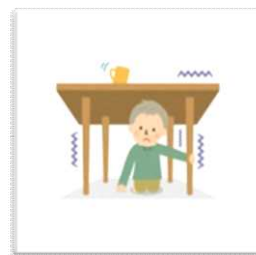
〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外 110-9

学校教育課 電話番号：0774-75-1230

危機管理課 電話番号：0774-75-1206

木津川市 防災ハンドブック

～災害から身を守るために～



みんなで、
防災について
考えよう。



中学生のみなさん

平成 30 年は、大きな自然災害がたくさん起こりました。大阪府北部を震源とした地震が発生し、木津川市でも大きなゆれがありました。たおれたブロック塀の下じきとなり、命を落とされた方や、家がこわれた方もいました。また、いくつかの台風が接近し、日本中で大きな被害がもたらされました。みなさんが住んでいる木津川市で地震や台風による災害が起こっても、みなさんの命を自分自身で守れるように、このハンドブックを読んで、災害に備えましょう。

地震発生！そのときあなたは？

【登下校中や建物の外にいるとき】

○ゆれを感じたら、頭を守り、危険なものから離れましょう。

- かばんや上着などで頭を守る。
- ブロック塀や自動販売機など倒れそうな物に近寄らない。
- あわてて車道に飛び出さない。



○ゆれがおさまったら、安全な広い場所へ避難しましょう。

- 登下校中は、危険物や危険な場所を避け、最寄りの避難場所に避難する。

【学校にいるとき】

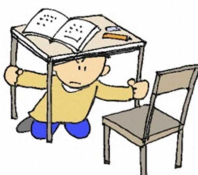
○避難訓練等で確認している避難の仕方に従って、ゆれがおさまってから安全な場所に避難しましょう。

- 先生や放送の指示に従い、運動場などの安全な場所に避難する。また、指示がない場合は、机の下でゆれがおさまるのを待ち、おさまってから安全な場所に避難する。

【自宅や建物の中にいるとき】

○ゆれがおさまるまでは、机の下などで身を守り、ゆれがおさまったら、建物の外に出て安全な場所に避難しましょう。

- 物が落ちてきたり、倒れたりするところから離れて、クッションなどで頭を守る。また、机の下に入り、机が倒れないように机の脚を押さえる。
- ゆれがおさまったら、ガスコンロなど火が付いている場合は火を消す。また、避難経路を確保するために、戸や窓を開ける。
- 戸外に逃げるときは、頭上から落ちてくるものや倒れてくるものに気を付けてあわてず外に出る。ガラスが割れたり、床に物が散乱したりしている場合は危険なので、くつやスリッパを履いて逃げる。



身の回りにあるその他の災害

ゴロ ゴロ・・・。「かみなり」に、ご注意！

かみなりは、人に落ちると、死ぬこともあります。

かみなりの音が聞こえてきたり、光るのが見えたりしたら、すぐに建物の中に避難しましょう。



【外にいるとき】

- かみなりの音が聞こえたら、高い木や電柱から離れ、すぐに建物の中に入る。グランドいるとき等、周りに高い建物がない場所にいるときは特に注意する。

「火事」は、人の不注意から！

地震などの自然災害だけでなく、人の不注意でも起こる災害があります。火事はその一つで、一番身近で気をつけなければならない災害です。

【火事を起こさないために】

- 火を使っているときは、火から目をはなさない。
- ストープの近くにカーテンなどの燃えやすい物を置かない。



【火事に気づいたら】

- できるだけ早くにげる。一度にげたら、もどらない。
- けむりをすいこまないように、ハンカチで口と鼻をおおって、姿勢を低くして外に出る。
- 火事が起こったことを大声で知らせる。



大雨が降ると

台風やゲリラ豪雨などで、大雨が降ると、川が氾濫したり、洪水が起こったりします。



【家のなかにいるとき】

- 大雨や洪水の気象警報、記録的短時間大雨情報などに気をつける。
- 大雨の状況によっては、避難情報が出る場合がある。テレビのニュースやインターネット、木津川市防災情報メール等を活用し、情報を集める。木津川市防災情報メールに登録すると、携帯電話等を使って簡単に地域の防災情報や防災行政無線からの放送内容をメールで受信することができます。（詳細は、木津川市HP・防災情報メールで検索）
- 避難所に避難するときは、長そで、長ズボン、スニーカーがよい。

【外にいるとき】

- 川や用水路は、水かさが増えたり、あふれたりするので危険です。普段と様子が変わり、流されてしまうこともあるので、絶対に近づかない。
- 雨が降り続くと、山やがけがくずれやすくなる。山やがけの近くに住んでいる人や近くの進を通る時は十分気をつける。

<がけ崩れに注意するポイント>



- がけに、割れ目ができているとき
- がけから、水がわき出ているとき
- 小石がパラパラ落ちてくるとき
- 山全体がうねるような音がするとき
- 腐った土のようなにおいがするとき

豪雨などが原因で、大量の土砂と水が混じり合っておしよせてくることを「土石流」や「てっぼう水」といいます。あっという間に、家や木をつぎつぎとなぎたおすので、とても危険です。川の近くに住んでいる人は、特に注意しましょう。

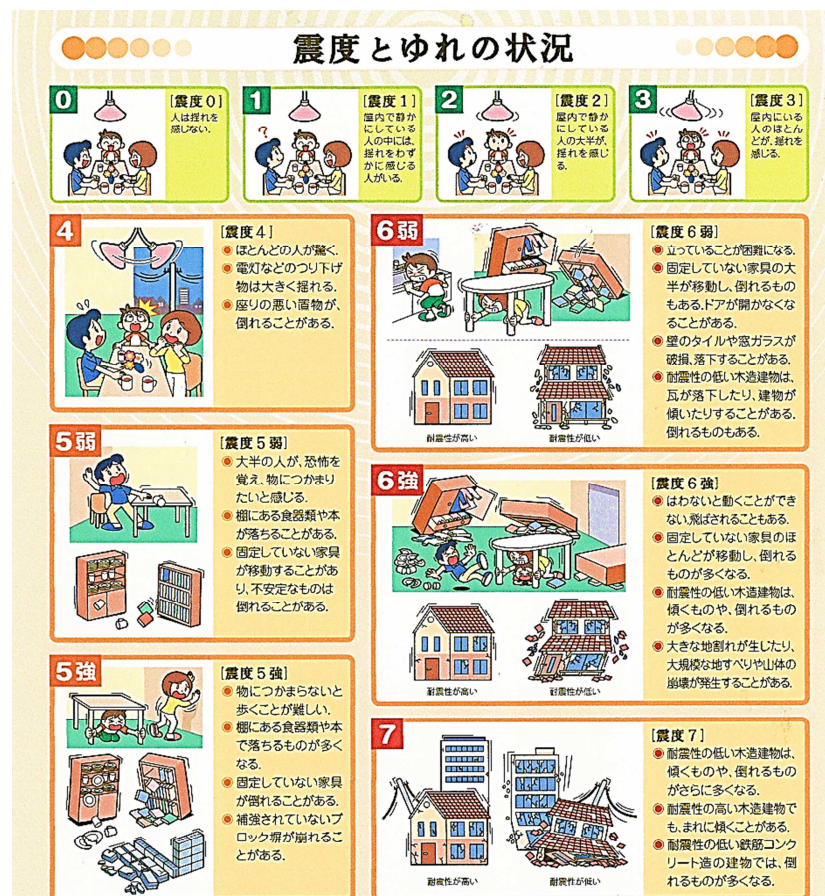
地震が発生し、休校になるとき

【震度の基準について】

木津川市において「震度5弱」以上の地震が発生した場合は、臨時休校となります。

- 下校後から夜中 24 時まで地震が発生 → 翌日臨時休校
- 夜中0時から登校するまでに地震が発生 → 当日臨時休校

【震度とゆれ等の状況（概要）】 <気象庁HPより>



この表は、ある震度が観測された時に、その周辺で発生するゆれなどの現象や被害の目安を示したものです。

詳しい解説は以下の気象庁ホームページに掲載しています。

気象庁震度階級関連解説表 <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/kaisetsu.html>

日常的に備えておきたいこと

【家族会議の開催】

大地震発生時において、避難する場所（学校、公園など）や非常持ち出し品などについて、家族みんなで話し合ってみましょう。

【非常持ち出し品の準備】

災害発生時に備えて準備しましょう。

- ・軍手 ・ヘルメット（防災頭巾） ・雨具
- ・携帯ラジオ ・懐中電灯やロウソク ・ライター
- ・救急薬品 ・非常用食料 ・水 ・貴重品（お金） など



【災害用伝言ダイヤル「171」の活用】

災害発生時には電話がつながりにくくなります。家族と連絡がとれないときは「171」にダイヤルすることで、ガイダンスが流れ、簡単な方法で伝言を録音したり、聞いたりすることができます。

＜使用方法＞

- ①「171」をダイヤルする。
- ②「録音」か「再生」を選ぶ。
 - 「録音」の場合 → 「1」をダイヤルする。
 - 「再生」の場合 → 「2」をダイヤルする。
- ③自宅の電話番号を市外局番からダイヤルする。
- ④メッセージを録音したり、再生したりする。
 - 「録音」の場合 → メッセージを話す。
 - 「再生」の場合 → メッセージを聞く。

気をつけよう、はげしい雨や風！

災害は、地震だけではありません。大雨や台風も、様々な被害をもたらすことがあります。これを風水害といい、代表的なものが、「洪水」と「土砂災害」です。日本各地で、毎年大きな被害が出ています。



台風 が近づいてくると



夏から秋にかけて、台風が日本に接近、もしくは通過します。台風は、激しい雨と風をもたらすため、大きな被害が出ることもあります。被害を少なくするための、行動を取りましょう。

【家のなかにいるとき】

- ・なるべく、外には出ないようにする。
- ・テレビやインターネットなどで、最新の台風情報を知る。
- ・停電や断水に備えて、携帯電話やスマートフォンの充電をしたり、飲み水や食べ物などを多めに用意したりする。



【外にいるとき】

- ・なるべく早く家に帰る。
- ・かさをさしていると危険なので、合羽の方がよい。
- ・電線が切れていたら、ぜったいにさわらないようにする。
- ・風で、木などが倒れてきたり、屋根がわらや看板が飛ばされてきたりすることがあるので気をつける。

